

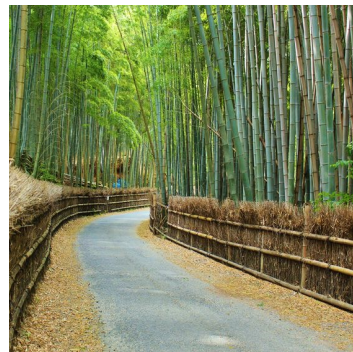


新入局のご挨拶

2021年4月より群馬大学放射線科に入局しました
友金佐光(ともがねさこう)と申します。
この場をお借りして自己紹介させていただきます。
よろしくお願い申し上げます。

私は奈良県天理市で生まれ、幼少期まで過ごしました。6歳の時に京都府向日市という小さな街に引っ越しました。平城京から都が遷った長岡京という平安京に至るまでの10年間都として栄えた町です。皆さんが想像する京都の街並みがあるわけではありませんが、自然豊かで、特に竹林や里山が豊富で、その中でよく遊んでいました(右図)。

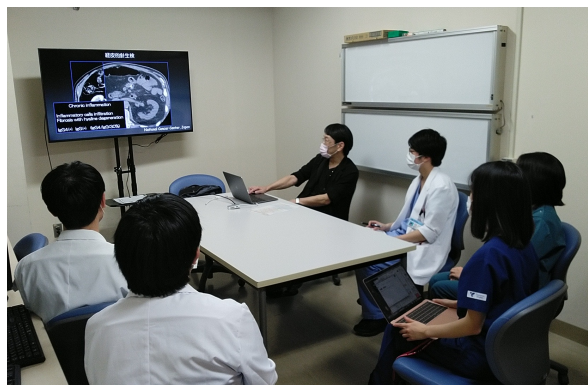
中学・高校は奈良県にある帝塚山中学・高等学校に通い、中学3年間は野球部に所属し、高校3年間は軽音楽部でバンド活動に励んでいました。



私は、がん治療に携われる医師になることを考えていました。浪人生活中、たまたま目にしたテレビ番組で放射線治療という治療法があるのを知りました。何か他の大学と異なる生活を送ることができるのではないかと、重粒子線治療のある群馬大学に入学しました。大学でも医学部軽音楽部に所属し、非常に充実した6年間を過ごしました。部活動の中でOBの先輩方と交流する機会が多く、群馬大学放射線科の医局に属している先生が多くいらっしゃることも知りました。特に、現医局長である安藤謙先生には大学1年生の頃からお世話になり、お酒をいただきながら放射線治療について色々と教えていただきました。

初期研修では公立藤岡総合病院で2年間研修しました。放射線治療科以外でもがん治療に携わる様々な診療科で研修させていただきました。色々な診療科で迷いましたが、最終的にはがん治療に対し、根治から緩和まで幅広く、全ての領域で関わることができる放射線科に魅力を感じ、群馬大学放射線科に入局させていただきました。

現在は埼玉医科大学総合医療センターに勤務し、まずは画像診断・IVRの研修をさせていただいています。毎日が新鮮であり、様々な画像診断やIVR症例を経験させていただいています。このような後期研修を容認してくださった群馬大学放射線科、そして高橋先生・宮崎先生には感謝申し上げます。未熟者ではありますが、この経験を精一杯吸収し、放射線科医としての成長・医局の発展につながるように精進してまいります。ご指導・ご鞭撻の程をよろしくお願い申し上げます。



当院でのレクチャーやIVRの様子(許可を得て添付しています)